GAKUSEI TANTOSHAHO

学生担当者報 10

Vol.392

発行／天理教学生担当委員会　発行責任者／松村孝吉　編集責任者／福江弘一
[TEL]0743-63-1511（内線 5817）（直通）0743-63-2489　[FAX]0743-62-5780
[E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp　[TSA website] https://tsa.tenrikyo.or.jp

立教182年
令和元年9月25日発行

粉骨砕身つとめよう

出版部　委員
中山　昭悦

私事をお許しいただきたい。最近起こったHappistの終刊、親里パレードの終焉、教校学園高校の閉校発表、いずれの話も暗くなるばかりの事柄。お役目柄、この、どれもに携わらせていただいている。

一時は自分が災難をもたらしているのではないか、と真剣に悩む日々があった。

そんなある日、娘が、なんのてらいもなく「大きくなったらバイオリンで有名になって私がパレードを復活させるくらいのおそなえをする！！」と。今、バイオリンを始めたばかりの娘が私の姿をみて笑顔満開に話してくれた。その晩、私は久々に泣いた。嬉しくて泣いた。お金の問題だけではないのは承知の上、そんな、先が見えず暗がりを進むかのような状態の私にはこれ以上ない激励の言葉となった。

娘からすれば、他愛無い夢にのせて大好きなパレードへの思いを語ってくれた一コマ。夢が叶おうと、叶うまいとどうでもよい。ただ、その言葉が私の心を温かく包んでくれた。次の日からは、いつも見慣れた世界が色鮮やかになった気がした。

どんな状況でも「私なりにできることを精一杯やろう」そんな風に考え直すことができた私の目に飛び込んできたのは、こどもおぢばがえりで汗を流す学生ひのきしん隊や様々な場所で躍動する若者達の姿。そうだ、こんなにも意欲に燃えた若い力が、子供達を喜ばせたい一心で、こうして集まっているじゃないか。そう思い直した時、若い力こそ未来の光であり、この未来の光たちを、何としてでも教祖が喜んでくださるような人材に育ってくれるお手伝いを精一杯せねば、そう思い定めることができた。

事情無ければ心が定まらん。
（明治二十．一．十三）

もちろん言葉の意味も、心定めの重要性もわかっていたつもりであった。しかし、この度、やはりそれは「つもり」であったことを、私にしてみればお仕込み下されたふし。何事も伸びる前には縮むもの。そう得心し、今後、未来の光たちが教祖の道具衆として大きく羽ばたく日を夢に見て、目の前の細かなことから心血を注ぎ粉骨砕身、学生会の大きな飛躍に微力ながらつとめさせていただく決心が湧いてきた。

蛇足ながら、娘達は、自分の人生で最も感動的な光景を友人達に味あわせてあげたい。そんな気持ちで、こどもおぢばがえりのお誘いに、今までにないほどの努力をした。結果、近年では随分目にすることが無かった程の参加者のご守護を頂いた。親として、この子らに遅れをとっている場合ではない。心にさらに火がついた。

立教182年 学生担当委員会 活動方針 『誠の心で人材の育成につとめよう』

「まなびば」開催会場一覧《１０月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
長野	10月5日13時～6日15時	教務支庁		
福井	10月13日13時～14日14時	教務支庁		

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

お知らせ

十月例会

・期日　立教182年10月25日
・時間　15時30分受付　16時開始
・場所　教庁４階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区学生層育成者講習会】
・宮崎　10月1日13時～　教務支庁
・岡山　10月2日11時～　教務支庁
・佐賀　10月2日13時～　教務支庁

報告

八月例会

去る8月25日、第38母屋に於いて「8月例会」を開催。出席は44教区、102直属。

業務記録

《立教182年　8月16日～9月15日》

8月24日　研修会チーム会議
25日　教区担当者懇談会
委員会　例会
広報室会議
出版部部会
学修高校の部研究室会議
春の学生おぢばがえり
プロジェクトチーム会議
9月4日　人材育成部部会
5日　委員会
担当者活動部部会
学生部部会
出版部部会
学修部部会
人材育成部部会
6日　委員会
担当者活動部部会
学修部部会
10日　学生連絡会
12日　まなびばチーム会議
13日　まなびばチーム会議

＜まなびば研修会の日程について＞

◎ 重 要 ◎

立教183年「まなびば研修会」は次の通り日程を変更して開催いたします。

変更前：2月26日～27日
変更後：4月26日～27日

学生生徒修養会　高校の部　受講生・カウンセラー感想文

GAKUSHU for high school students

●受講生感想文

最初は本当に来るのが嫌で、親も会長さんも恨んでいたけれど、今ではそれを反省するほど楽しい経験をさせていただき、友達も沢山でき、一人ひとりの違いなど細かいことにも気づけて、とても面白かった。また参加したいと思った。

（一年生　男子）

何事にも喜びを持つことを学んだ。今、生きていること、息ができること、親がいること、様々な人に出会えたこと、喜びを探したら、切りがないほどのありがたさに包まれているんだなと、改めて実感した。また、講話を通して、親への感謝、親孝行を改めて考えさせられ、ありがたいなと思い、これから感謝を忘れず、日々喜びを持って過ごしていきたいと思った。当たり前のありがたさを感じられる、とても充実した一週間だった。

（二年生　女子）

●カウンセラー感想文

私は今回初めて学修の御用を頂きました。今回は三年生男子のカウンセラーを務めさせていただきました。私自身、高校の学修に参加したこともなく、スタッフ経験もありませんでした。初めてなので右も左もわかりませんでしたが、まずは学修をどのように通らせていただこうかと考えました。参加する生徒たちに楽しんで帰ってもらうのが良いと思い、それにはまず自分が本気で楽しませていただ

振り返っての感想や寄せ書きを行いました。そして、コースごとに二日間で実施した内容を発表し合い、またおぢばでの再会を約束し、それぞれの土地へ帰っていきました。

●中国ブロック

八月三十一日から九月一日にかけて、山口教務支庁を会場に「中国ブロック大学生の集い Work & Talk 2019 in 山口」が開催され、二十六名の学生が参加しました。『稿本天理教教祖伝逸話篇』のお話をもとに各班で寸劇を演じ、教祖の親心に触れ、またその場におられた先人の先生方の心の動きを感じるなど、今回のテーマである「信仰を深めよう」に沿ったプログラムで信仰はもちろん、参加した学生同士の親交も深めていきました。

二日目は、にをいがけとひのきしんを予定していましたが、豪雨のため急遽変更となり、祭儀式とおてふりの二部屋を各教区学生担当委員が設け、学生に教える時間としました。急なプログラム変更の中でも、担当者の臨機応変な対応に、学生達も真剣に受講し、意義のある時間になりました。

今回のWork & Talkを通して感じた信仰の大切さを胸に、日々を喜び心で通り、次回の再会を誓い合い、会場を後にしました。

●四国ブロック

九月七日から八日にかけて、香川教務支庁を会場に「四国ブロック大学生の集い Work & Talk 2019 in 香川」が開催され、二十四名の学生が参加しました。今回は「魅力的な男・女とは」というテーマのもとに行われ、開講式、ウォーミングアップ、自己紹介と続き、その後男女各二班に分かれて「魅力的な男・女」をテーマに短冊整理法が行われました。

二日目は、「フォトコンテスト」が行われ、受講生達はお互いにモデルとなり思い思いの写真を撮り合いました。

講話では、「人間関係のコツについて」と題しての講師の実体験を交えての話に受講生達も熱心に聞き入り、最後に閉講式が行われ、受講生達は、来年度の「Work & Talk」での再会を誓い合い、それぞれの帰路につきました。

青　空

この春まで直属の学生担当委員としてつとめさせていただいた。この間には教祖百三十年祭学生おぢばがえり大会があり、また大教会では七代会長就任奉告祭という大きな節目もあった。

この委員会の中に、長年、副委員長を務めて下さっている人がいる。彼は自分自身が学生会活動で育てていただいたという実感もあるのだろうが、学担の御用をいただくずっと以前から、親里管内の学校に通う学生を集める行事を始めたり、大教会でも、たまにしか顔を出さない学生にも積極的に声をかけ、若い人たちのつなぎをし、居場所を作ってきていた。そうした長年の細やかな丹精の積み重ねが、おぢばがえり大会での参加者数が過去最高というご守護をいただき、就任奉告祭では若い学生層を中心にしたひのきしん隊を結成し、若い者がたくさんいる、と真柱様にもお喜びいただける姿にも繋がった。

一人でも多くの若い人たちを、なんとかおぢばに、なんとかお道に繋がっていってほしい、それが将来の教会の力になる。という彼の思いと行動が周囲の者も突き動かしていった結果であったように思う。

このありがたいご守護を目の当たりにして、丹精を積み重ねていくこと、信念を持って行うことの大切さを学ばせていただいた。私自身は学生担当委員としての持ち場は離れるが、学生層育成者として今後も、彼のようにじっくりと若い人たちと関わっていきたいと思う。

名東学生担当委員会前委員長　元木　弘

大学生の集い Work & Talk 開催報告

●九州ブロック

八月二十八日から二十九日にかけて、日本ボーイスカウト宮崎連盟野外活動訓練センターを会場に「九州ブロック大学生の集い Work & Talk 2019 in 宮崎」が開催されました。

当日の朝、記録的な豪雨で九州北部一帯に警報が発令されたことから、参加する予定だった学生の大半がキャンセルとなり、三名での開催となりました。

今回は「生きる喜びを味わおう」とのテーマの下、学生はキャンプファイヤーやグループワーク、クラフトなど主に野外活動を中心としたプログラムを体験し、少人数ながらも学担の先生方も加わって、豊かな自然の中で親神様の大きなご守護を感じ、仲間と共に楽しい時間を過ごしながら火水風の恵みを存分に味わった二日間となりました。

●東北ブロック

八月二十九から三十日にかけて、舟形若あゆ温泉「あゆっこ村」を会場に「東北ブロック大学生の集い Work & Talk 2019 in 山形」が開催されました。本年は十一名が参加し、「本当のたすかり～今、学生にできるおたすけ～」とのテーマでグループワークに取り組みました。

一日目は「ダイスブック+ライフライン」を行い、各々がこれまでの人生の中で「自分がたすけられた」「誰かをたすけた」経験を発表し合いました。また、夜は花火やナイトウォークなどをして、合宿行事ならではの楽しい時間を過ごしました。

二日目は、本部学生担当委員会　松村孝吉委員長よりお話があり、自身の経験を通して「自分の信仰心を育む」「おたすけは誰でもできる」ということが伝えられました。その後、講話を振り返りながら各々の歩み方を考え、全員で確認し合う時間がもたれました。

屋外で親神様のご守護を全身で感じ、親睦を深めながらも、改めて信仰心やたすけ合う心の大切さ、よろこびを学び味わう、充実した二日間となりました。

●東海ブロック

八月三十一日から九月一日にかけて、南紀大教会を会場に「東海ブロック大学生の集い work & talk 2019 in 三重」が開催され、六十九名の学生が参加しました。

今回は、「Find me～陽気ぐらしへの第一歩～」のテーマのもと、七つのコースに分かれ、コースごとに趣向を凝らしたプログラムが進められました。

初日は、コースごとにゲームなどを通して自己紹介を行うと、初めは緊張していた学生たちも少しずつ表情が和らぎ、会話が弾むようになっていきました。その後は、それぞれの生い立ちなどについて語り合うことで、お互いのことを深く知り合うことができました。

二日目には、基調講話として本部学生担当委員会　松山勇一委員よりお話を聞き、お道について改めて考えることができました。コースごとの最後のプログラムでは、大教会近くの浜辺で清掃ひのきしんや交流、二日間を

こう、そう考えました。しかし事前研修会で、三代真柱様が立教百六十年学生生徒修養会高校の部係員結団式で下さったお言葉を聞かせていただいて、それだけでは足りないと、はっきりわかりました。お話の中に、「布教ということを心掛けて取り組んでほしい」「少なくとも陽気ぐらしができるような人に育ってもらうための素地を与えていくということが、あなた方の、これからやっていただく仕事だと私は思うのであります」とのお言葉がありました。ただ楽しいだけじゃない、お道の素晴らしさを少しでも感じ、帰ってから陽気ぐらしが実践できるようになって帰っていただきたい、考えを改めさせていただきました。

班の学生さん達には、「周りを見て周りに合わせて行動する、人に優しくする、困っている人がいたらみんなで助け合う、支えてくれる周りの人たちに感謝してそれを伝える、誰かのために祈ることの大切さを実感すること」を一週間かけてその場面場面で何度も何度も伝えさせていただきました。生徒たちは素直にそれを実践してくれ、日に日に成長してくれました。そして自分自身も、講師の先生やカウンセラーの方から、本気で生徒と向き合う姿勢、心を低くして通ること、温かく優しく接することの大切さを学ばせていただきました。

寮長先生をはじめ、スタッフの皆さん、フロア長さん、カウンセラーさん、フロア庶務さん、講師の先生、そして生徒さん達に支えられ無事につとめ上げることが出来ました。

本当に幸せな一週間でした。ありがとうございました。

（三年生男子担当）

学生生徒修養会　高校の部　三年生講師感想文

この度、学修の講師という御用をいただきましたが、本期間を迎える前に、私の周りに様々な節をお見せいただき、学修へ参加できるということは生徒も、また講師である私自身も当たり前ではないと感じる中、本期間がスタートしました。

私が担当させていただきました三年生十五組では、「相手の身になろう」「今ある姿を喜ぼう」と学修中の目標を掲げて通らせていただきました。生徒たちも一生懸命周りの仲間に声を掛け、明るく通ってくれており、レクチャーの際、クラス全員がまっすぐ私の方を見て、真剣に話を聞いてくれている姿には、ありがたくて涙がこぼれました。

そのクラスの中に、難病を抱えて受講してくれた生徒がいました。彼女はいつ病状が悪化するかわからない中を必死で学修を楽しもうと明るく通ってくれていました。

しかし、期間中、何度か調子が悪くなることがありました。幸い休めば登校できるくらいの症状でありましたが、知らず知らずのうちに無理が重なった様子でした。

私は無意識のうちに彼女の身になれず、無理を強いていたのではないか、また彼女の具合が悪くなったことによりレクチャーの進行が思い通りにいかず喜べていなかったのではないかと反省をし、親神様、教祖にお詫び申し上げました。

期間を通して、講師という立場をいただいている私ではありますが、生徒たちと一緒に勉強し、お育ていただいていることを実感いたしました。そして、学修の期間中にも難病の彼女の身上を通して、当たり前ということは何もないことを学ばせていただきました。生徒たちには学修が終わってからも、先ほど挙げたクラスの目標を忘れないでほしいと伝えさせていただきましたが、私自身もこの目標と今年の学修の思い出を胸に、日々の生活を喜びいっぱいにつとめさせていただきたいと思います。

親神様、教祖、素晴らしい出会いをありがとうございました。

台湾学生会交流会　開催報告

八月二十三日、台湾学生会と親里に学ぶ学生との交流会が天理大学三号棟四階講堂にて行われました。台湾学生会との交流会は長年行われており、近年は隔年で、こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊への参加と、天理教学生会との交流会を行っています。

本年は交流会の年にあたり台湾学生会十三名と日本の学生九名が参加し、室内オリンピックなどで交流を深めました。

始めにウォーミングアップを行い、参加者の緊張をほぐした後、学生担当委員会 飯降好助委員の挨拶がありました。そして、それぞれの代表者が順番に選手宣誓を行い、台湾と日本の四つの混合チームに分かれて競技が繰り広げられました。

初めは互いの言葉が通じず、ぎこちなかった雰囲気も、協力して取り組む中で、自然と声をかけ合い、随所に笑い声や歓声も起こり、競技を終えるころには心を通わせ、互いの親睦を深める充実した時間となりました。

交流会の最後に行われたセレモニーでは、プレゼント交換、それぞれの代表者からの挨拶があり、台湾学生会から日本の学生に向けて中国語で「希望の花」のダンスパフォーマンスが披露され、日本の学生たちもダンスに加わり全員で盛り上がりました。最後には、日本の学生が台湾の学生を見送り、和やかな雰囲気で交流会を終え、今回の交流会も大変有意義なものとなりました。

Happist Photo Gallery

行事中に「Happistカメラマン」が撮影した写真を販売しています！

各班の集合写真も販売しています！

内　容　立教182年 こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊
立教182年 学生生徒修養会 高校の部

頒布期間　令和元年9月25日～令和元年12月25日

購入方法　パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワード（各行事で異なります）を入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードついては、参加者と担当者への配付資料「Happist Photo Gallery」をご覧いただくか、学生担当委員会事務局（☎0743-63-2489）までお問い合わせください。なお、インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします。

頒布価格　L版40円、2L版100円　※別途送料が必要です。

URL　http://11kao.jp/

Web〈Happist〉予告!!

連載　毎週月曜更新

・教理コーナー
おやさまと若者 ー現代を生きる君へー　上田 嘉世（本部員）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて　松村 孝吉（本部准員）

らんくら　毎週金曜更新

・四コマ漫画
おさんぽ日和

各学生会「Twitter・Instagram」の投稿も「NEWS&INFO」にて随時紹介していきます!!

web Happist
明日につながる学生WEBSITE
親しみやすさはそのままに、〈Happist〉が生まれ変わりました。これまでよりも身近に、手軽に楽しめるWeb〈Happist〉をぜひご覧ください！
詳しくはWebで。
さぁ、君もHappistで検索
Happist.net　検索
https://happist.net

※内容は一部変更になる場合があります。